



神戸異人館めぐり

奈良散策

京都満喫

四国の橋

宮島

鞆の浦

福岡の名物

# 走遍日本

总策划：现代教育 总主编：王精诚 主编：张长安

副主编：孙莉 杨丽荣

# M P 3

外语教学与研究出版社

1

2

3

4

5

6

# 走遍日本

神戶異人館めぐり

奈良散策

京都満喫

四国の橋

宮島

鞆の浦

福岡の名物

总策划：现代教育

总主编：王精诚

主 编：张长安

副主编：孙 莉 杨雨荣

审 校：(日) 明日山幸子

编 者：杜丽娜 沈丽芳 刘 侠

贾 琦 田 静 孙伏辰

王 晶 李国栋 董文彦

外语教学与研究出版社  
北京

## 图书在版编目(CIP)数据

走遍日本. 6 / 王精诚主编; 张长安分册主编; 杜丽娜等编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2018.12

ISBN 978-7-5213-0561-6

I. ①走… II. ①王… ②张… ③杜… III. ①日语—教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2018) 第 286901 号

出版人 徐建忠  
项目策划 薛豹  
责任编辑 杜红坡  
责任校对 刘宜欣  
封面设计 孙莉明  
插画设计 张峰  
出版发行 外语教学与研究出版社  
社址 北京市西三环北路 19 号 (100089)  
网址 <http://www.fltrp.com>  
印刷 三河紫恒印装有限公司  
开本 787×1092 1/16  
印张 14  
版次 2018 年 12 月第 1 版 2018 年 12 月第 1 次印刷  
书号 ISBN 978-7-5213-0561-6  
定价 55.00 元 (含 MP3 光盘一张)

购书咨询: (010) 88819926 电子邮箱: [club@fltrp.com](mailto:club@fltrp.com)  
外研书店: <https://waiyants.tmall.com>  
凡印刷、装订质量问题, 请联系我社印制部  
联系电话: (010) 61207896 电子邮箱: [zhijian@fltrp.com](mailto:zhijian@fltrp.com)  
凡侵权、盗版书籍线索, 请联系我社法律事务部  
举报电话: (010) 88817519 电子邮箱: [banquan@fltrp.com](mailto:banquan@fltrp.com)  
物料号: 305610001

近年来,随着中日两国在多个领域内的交流、合作不断加强,学习日语的人数也在与日俱增。目前,在外语学习方面,日语已经成为仅次于英语的第二大语种,而且学习者的目的也日益多样化。现在市面上有多种版本的日语教材,但是各种教材在凸显其特色和优势的同时,也多少存在着不足之处。有的教材单纯以公司工作为背景,有的教材单册内容过于单薄。本系列教材的编写主旨在于博采众家之长,将必须掌握的语言知识、语法、词汇等融入相对精炼的篇幅之内,提高教材的实用性,以加强学习者的交际能力。

本教材在编排方面有以下特点:

1. 注重实用性,提高学习者的语言运用能力。

本系列教材选取了赴日生活常见的场景、活动,以此为背景展开教学,使学习者不仅能学到语言知识,更能了解日本的实际情况,加强学习者运用语言工具解决具体问题的能力。

2. 培养听、说、读、写、译等多方面的综合能力。

本系列教材不仅注重语言知识、语法、词汇的学习,还通过多样化的练习来提高学习者在听力、会话、翻译等方面的综合能力。

3. 与日本的对外日语教学接轨,采用“日语教学语法”中的术语表达体系。

目前日本对外日语教学中大多采用“日语教学语法”的术语表达体系,“日语教学语法”区别于之前国内常用的“学校语法”体系,更能反映现代日语的特征。本教材全面采用“日语教学语法”的术语表达体系,与日本的对外日语教学接轨。

4. 紧扣主流考试要求,针对性强。

本教材紧扣“日本语能力测试(JLPT)”“实用日本语鉴定考试(J.TEST)”等主流考试的要求,根据中国日语学习者的特点,合理配置语法、句型、词汇等学习要点。本教材主要以日本语能力测试N1、N2的语法和词汇为依据,将日本语能力测试N1、N2要求的词汇、句型、用法合理地编排进教材中。并且在课后练习中设置针对考试的练习环节,通过多种途径使学习者在学习后不仅能掌握必需的语言知识和语言能力,同时具备较高的应试能力,有助于提高通过率。

5. 中日资深教师共同合作,倾力编著。

本教材由日语教学经验丰富的中、日籍教师合作完成,无论是框架的设定、场景的选取,还是内容的编写,都吸收了教学一线教师的宝贵意见,并结合了日语语言学、教育学领域的最新研究成果,使编写质量得以保证。

6. 具有较强的连贯性。

本教材由几个主要人物贯穿始终，让学习者与教材中的主人公共同成长，体验在日本学习、生活、工作的各种场景。

7. 加强学习者的自学、自测能力。

本教材练习充分，并设有单元测试，为学习者设定了更广泛的自学、自测的空间，以提高学习者自我学习的主动性。

8. 分层次教学，分层次掌握。

本教材在词汇方面，根据日本语能力测试词汇表，对单词进行了分类，满足了不同层次和要求的学生的学习需求，使教师在教学时能根据自己的要求添减学习内容，学习者也可以根据自己的需求灵活掌握。

9. 丰富的插图有利于学习者的学习、理解。

本教材插图丰富、紧扣内容。不仅能提高学习的趣味性，也有利于学习者理解教学内容。

10. 另配有课文翻译、强化练习、练习参考答案及听力题原文，对教师和学习者都有很好的辅助作用。

本系列教材由陕西现代日韩语职业培训学校组织编撰，在编写过程中得到了西安交通大学日语系多位教师的大力支持，在此表示衷心的感谢。

《走遍日本》编写委员会

2017年12月6日

## 一、教材的内容

《走遍日本6》是按照日本语能力测试N1水平和要求进行编写的，主要以李雪在日本的学习和生活为主线。通过本册的学习，学习者不仅能掌握高级阶段语言知识，更能用所掌握的知识解决生活、工作中常见的问题，以提高其语言交际能力和实际运用能力。同时学习者也能深入了解日本的生活习惯、风俗、文化等，为今后的深造、工作、交际奠定基础。

## 二、教材的结构

《走遍日本6》共12课、4个单元。每3课为一个单元。每个单元后设一个单元测试。

## 三、各课的构成

### 1. 文型

提示各课需要掌握的主要句型和学习重点。

### 2. 会話

主要是以在日本常见的学习、生活、工作为场景的会话，其中穿插高级阶段需要掌握的词汇、句型、语言知识等。

### 3. 読解文

阅读理解题是一种综合性的题型，是所有考试考题的重要组成部分，在整个考试中占大比重分值。通过学习课文，提高学习者的阅读理解能力和语言水平。

### 4. 新出単語

对会话、课本部分中出现的生词进行解释，主要说明单词的声调、词性和汉语意思。

### 5. 文法説明

对需要掌握的语法、句型进行简要、准确的说明，重点介绍词形变化及句型的用法。

### 6. 表現説明

主要对一些难以理解的词语和表达方式进行说明。

### 7. 練習

根据日本语能力测试读解题和听力题编写。“練習 I”主要以巩固单词、短语、

句型、语法等的用法为主，帮助学习者把握文章结构，熟悉日本语能力测试读解题的出题形式，提高答题技巧。“練習Ⅱ”为听解题，旨在提高学生的听力水平和及时作答的能力。

#### 8. 練習用単語

对语法说明、词语与表达方式、练习等部分出现的生词进行解释，主要说明单词的声调、词性和汉语意思。

### 四、本教材使用的缩略语和符号

#### 本教材的缩略语

名……名词	专……专有名词	副……副词	连体……连体词
接……接续词	感……感叹词	助……助词	动……动词
自……自动词	他……他动词	动1……一类动词	动2……二类动词
动3……三类动词	形……形容词	形1……一类形容词	形2……二类形容词
后缀……后缀词			

#### 本教材的符号

N……名词

V……动词

A……一类形容词

AN……二类形容词

AD……副词

①②③④……声调符号

注：关于词性不同的语法体系有不同的说法，本书中的一类动词相当于五段动词，二类动词相当于一类动词，三类动词相当于力变、サ变动词；一类形容词相当于形容词，二类形容词相当于形容动词。

☆ 课文翻译、录音脚本、拓展练习尽在“Unipus日语教学管理平台”！

☆ 获取本书更多资源，请登录：<http://japanese.unipus.cn>

## 目次

第1課 神戸異人館めぐり	1
第2課 奈良散策	17
第3課 京都満喫	31
練習問題 (一)	48
第4課 四国の橋	53
第5課 宮島	69
第6課 鞆の浦	85
練習問題 (二)	101
第7課 福岡の名物	105
第8課 北九州市:重工業の町からの変身	119
第9課 東洋と西洋の合体——長崎	135
練習問題 (三)	150
第10課 沖縄の旅	155
第11課 台風	171
第12課 沖縄民謡	187
練習問題 (四)	202
附录1 参考文献	206
附录2 语法项目索引	207
附录3 表现说明索引	209
附录4 单词索引	210

# 第1課 神戸異人館めぐり

## 文型

- ① 今まで経験したことのない大地震**とあって**、人々の間にはともに助け合う心の輪が広がったんだ。
- ② 神戸は六甲山と海に囲まれて昔から良港として有名でしょ。それに開放的な雰囲気**とあいまって**、古くから栄えていたんですって？
- ③ 神戸はさまざまな異文化に影響を受けながら発展してきたのね。中華街**といい**、北野異人館**といい**、あちこちで異国情緒があふれているわね。
- ④ 日本人はチップの払いが悪いから、あらかじめある程度付けてしまおうという考えなのだ**という**。



## 会話



(李雪さんは佐藤さん、井上さん(男性)と神戸のことを話している。)

**李雪**：井上さんは神戸の出身だよね。神戸は古くからの歴史があるけど、街は新しいよね。

**井上**：うん、李さんはよく知ってるね。神戸は1868年に開港してから、様々な外国文化を取り入れて独自のスタイルを築いてきたんだ。でもその歴史は、旧石器・縄文時代にまでさかのぼるんだよ。

**李雪**：へえ、そうなの？でも、地震の時、全部壊れてしまったんじゃないの？

**佐藤**：地震って、阪神大震災のこと？

**井上**：確かにあの地震で、神戸を中心にした地域は大きく揺れて壊滅的な打撃を受けたんだ。

**佐藤**：でも、今では見事に復興したよね。

**井上**：そうだね。今まで経験したことのない大地震とあって、多くの市民が、一生をかけてでも、街を美しくしようと決心したんだよ。それで人々の間には共に助け合う心の輪が広がったんだ。

**李雪**：神戸は六甲山と海に囲まれて昔から良港として有名でしょ。それに開放的な雰囲気とあいまって、古くから栄えていたんですって？

**井上**：うん、そのとおりだよ。じゃあ、このパンフレットに書いてある「どこか懐かしくて温かい、北野の街にちりばめられた異国情緒が味わえる」って所に行かない？

**佐藤と李雪**：うん、行く。

(三人は食事の後、北野異人館に来ている)

**李雪**：異人館のある街は「北野」って言うの？

**井上**：そうなんだ。旧外国人居留地北野町のことだよ。神戸が開港した時、外国人のための居留地が設けられたんだけど、来日する外国人が増えて、住宅地が不足しはじめたんだ。それで神戸港を一望できる山の手の北野町が新たな住宅地として開発されたんだ。

**李雪**：異人って外国人のことだよ。なんだか面白そうな街ね。

**井上**：うん、確かにエキゾチックで面白い所なんだ。異人館街には衣食住から娯楽、文化まで、あらゆる面で欧米の生活様式が持ち込まれたん

だ。神戸はいち早く文明開化の洗礼を受けて国際貿易都市として発展してきたわけだよ。

**佐藤**：神戸はさまざまな異文化に影響を受けながら発展してきたのね。中華街といい、北野異人館といい、あちこちで異国情緒があふれているわね。

**李雪**：異人館街にはどういった建物があるの？

**井上**：異人館の他に伝統的な建造物が多くあるよ。ほとんどは国の重要文化財に指定されているんだ。明治・大正時代に建てられた古くて貴重な洋館ばかりだよ。

**佐藤**：六甲山系の豊かな自然と、洗練された港の風情、そして異国情緒あふれる街並み、それこそが神戸の魅力なのね。

**井上**：うん。それに神戸市北部には日本最古の名湯、有馬温泉もあるんだよ。来てくれた人がもう一度神戸を訪れたいと思ってもらえるよう、みんないろんな活動しておもてなしをしているんだ。

**佐藤**：そう？それなら、まず異人館に入りましょう。



## 読解文

### チップ論 アメリカのレストランVS.日本のレストラン

チップという習慣は日本人には馴染みが無い。正直言って私自身、アメリカで暮らし始めてもしばらくはチップを煩わしいものだと思っていた。なんと言っても私は正真正銘の日本人で、サービスが無料の国で生まれ育ったのだから無理も無い。

アメリカに来るまでの私は、チップというものに抵抗感を抱いていた。それどころか、「ハ～？お金払っているのにその上チップまであげるの！？」ぐらいの嫌悪感を持っていた。さらにチップを要求する外国文化に対しても「恩の押し売りなんじゃないだろうか」という疑惑すら抱いていたくらいだ。もちろんこれは、恐ろしく自分勝手な勘違いだったのだが。

チップとは、受けたサービスに対して支払うお礼の気持ちをお金にしたもの（サービス料）である。アメリカのあらゆる日常生活のなかで、チップは必ず付きまとう。タクシーに乗るとき、ホテルの従業員に、駐車場で…等々、書き出したらキリが無い。

慣れない日本人にはチップを渡すタイミング一つとってもいちいち煩わしい。そもそもどんな時にチップが必要なのか分かりにくいし、場面によって妥当な金額を判断するのも難しい。

「ちょっとお使いしてくれたから、お駄賃にお小遣いをあげる」というような感覚と、チップは全く違う。日本の常識からは想像もつかないけれど、受け取る側にしてみればチップに生活がかかっているのだ。チップを受け取るような仕事をしている人々の給料は、チップからの収入を見込んだ上で給

料が決まっていることが多いのだ。

実際にその環境の中で暮らしていると当たり前のように感じてしまって気付にくいのが、日本という国は「気の利いたサービスが当たり前のように付いて来る」という、世界的にも稀な素晴らしい国である。「お客様は神様です」という言葉もあるけれど、店側のサービス精神が過剰なくらい旺盛な国なのだ。そのため、日本人は「タダでもらって当たり前」という価値観の基準が外国とは大きくずれている。サービスを有料にしないというのは、出来高制ではない給料体制と、仕事に対して熱心さを持っている日本人の国民性、それに客に対して丁寧に奉仕することを美徳とするような文化があってこそ実現できるのだろう。

問題は、日本的な感覚でいることに慣れきってしまっていると、異文化に入り込んだ時にまでそこがまるで日本であるかのように勘違いしてしまうことだ。海外でも日本の常識を信じたままだと失敗する事がある。タダでサービスを受けられると思ってしまい、かつての私のように「お金払っているのに、チップまで渡すなんて」と逆に不快に思ったりしてはつまらない。

私達にとっては当たり前の日本の常識でも、アメリカではまったく通用しないということを忘れてはならない。

NYのあるレストランでは、客が日本人だと見るやいなや会計時のレシートに勝手にチップを書き加えてくるらしい。日本人はチップの払いが悪いから、あらかじめある程度（少なくとも15%は）付けてしまおうという考えなのだという。隣のテーブルにいたアメリカ人はチップの欄が空欄なのに、さも「日本人はチップを払わない」と言いたげな差別を受けるとしたら、とても不快なことである。

こういう店は傲慢だと思う。チップというのはそもそも「受けたサービスに対して客が払うもの」なのだから、サービス料を評価して幾らが適当かを判断するのは客の役目なのだ。だから私は、一方的にサービス料をつけてくる店はあまり好きではない。

私はよっぽどの事が無ければ最低でも15%は置くけれど、楽しい食事をするためにお金を払っているのにそれを台無しにされたならば、そのメッセージを少ないチップに託したい。もしかしたらお店の人は私を外まで追いかけて来て、「どうしてこんなにチップが少ないのか」と聞いてくるかもしれない。彼らは自分の仕事に対しての報酬を当然として求めているのだ。でも、もしも最悪なサービスを受けたと思うのならば「こんな最悪なサービスを受けて、渡すチップなどない」と言い放つ勇気が欲しいと思う。



## 新出単語

いじんかん (異人館) ②	[名]	西洋会馆
わ (輪) ①	[名]	环
ろっこうさん (六甲山) ③	[专]	六甲山
さかえ (栄え) ②①	[名]	繁荣, 荣华
きゅうせっき (旧石器) ③	[名]	旧石器
じょうもんじだい (縄文時代) ⑤	[专]	绳文时代
いちぼう (一望) ①	[名・他动3]	一览无遗
エキゾチック④	[名・形2]	异国情调
せんれん (洗練) ①	[名・他动3]	精炼; 高雅讲究
めいとう (名湯) ①	[名]	有名的温泉
わずらわしい (煩わしい) ⑤①	[形1]	繁琐的, 麻烦的
しょうしんしょうめい (正真正銘) ①⑤	[形2]	地地道道
けんおかん (嫌悪感) ③	[名]	讨厌的感觉
だとう (妥当) ①	[名・形2]	妥当, 妥善
おうせい (旺盛) ①	[形2]	旺盛, 充沛
できだか (出来高) ②	[名]	产量, 成交额
ほうし (奉仕) ①	[名・自动3]	侍奉, 侍候
いいはなつ (言い放つ) ④	[他动1]	断定, 断言



## 文法説明

### 1. ～とあって

“名词＋とあって”“动词普通体＋とあって”“一类形容词词干＋い＋とあって”“二类形容词词干＋とあって”，前项为少见的特殊原因，后项为结果。后项不能用命令、推测、劝诱等意志表现。属于书面语，口语中可用“ということなので”。相当于汉语的“由于……”“因为……所以……”。

- ▶ 今まで経験したことのない大地震とあって、人々の間にはともに助け合う心の輪が広がったんだ。（因为遭遇了前所未有的大地震，所以人们之间相互帮助的信念不断地传递开来。）
- ▶ 年に一回の行事とあって、村の人はみんな神社へ集まっていた。（赶上一年一次的庙会，所以村里的人都聚集到了神社。）
- ▶ どうしてもサンタクロースを見たいとあって、子供たちはクリスマスイブの夜に寝たがらなかった。（因为无论如何都想着要看圣诞老人，所以圣诞夜里孩子们都不愿睡觉。）
- ▶ ほかの店より値段が2、3割安いとあって、売上が伸びている。（由于[这个店]价格较其他店便宜两三成，所以营业额有所增长。）

### 2. ～とあいまって

“名词＋とあいまって”，表示主体与其他事物结合，或者两件事物相结合，在其共同作用下产生了后项的结果。其结果可以是积极的，也可以是消极的，属于书面语。相当于汉语的“加上……”“与……相融合”“凭借着……”。常以“～は／が～とあいまって”或“～と～と（が）あいまって”的形式使用。

- ▶ 神戸は六甲山と海に囲まれて昔から良港として有名でしょ。それに開放的な雰囲気とあいまって、古くから栄えていたんですって？（神戸被六甲山和大海环绕，以前作为良港很有名。再加上其开放的氛围，好像自古以来就很繁荣呢。）
- ▶ 厳しい経済状況もあいまって、就職は非常に困難だった。（又赶上严峻的经济形势，找工作就更难了。）
- ▶ この料理は、甘さと辛さがあいまって微妙な味を作り出している。（这道菜甜

辣结合，做出了微妙的味道。）

- ▶ 実力と運があいまって、チャンピオンの座につくことができた。（实力加上运气，让他得以登上冠军的宝座。）

### 3. ～といい、～といい

“名词＋といい、名词＋といい”，表示举出两个例子，意思是无论从哪个方面看，结果都是一样的。常用于评价，表达某种特殊的感情，如感动、惊奇、激动等。相当于汉语的“无论……还是……都……”“……也好……也好……都……”。

- ▶ 神戸はさまざまな異文化に影響を受けながら発展してきたのね。中華街といい、北野異人館といい、あちこちで異国情緒があふれているわね。（神戸是在各种不同文化的影响下发展起来的。无论是中华街还是西洋会馆，到处都充满着异国情调。）
- ▶ あの店の服は品質といい、デザインといい申し分ない。（那家店的服装不论是质量还是款式，都无可挑剔。）
- ▶ ここは、気候といい、景色といい、休暇を過ごすには、最高の場所だ。（这里无论是气候还是风景都很好，是度假的最佳场所。）
- ▶ 僕はスポーツといい、勉強といい、山田さんには及ばない。（我无论是体育还是学习都不及山田。）

### 4. ～という

“句子普通体＋という”，表示传闻。相当于汉语的“据说……”“听说……”。

- ▶ 日本人はチップの払いが悪いから、あらかじめある程度付けてしまおうという考えなのだという。（听说[他们是]是考虑到日本人不好好给小费，所以事先多少记点在账单上。）
- ▶ 先生は三月にこの大学をお辞めになるという。（听说老师三月份就要从这所大学辞职了。）
- ▶ 昨日、池田さんが急病で入院したという。（听说昨天池田因急病住院了。）
- ▶ 繁華街であるこの辺りは30年前はただ普通の田んぼだったという。（据说现在繁华街的这一片地区30年前只不过是一片普通的水田。）